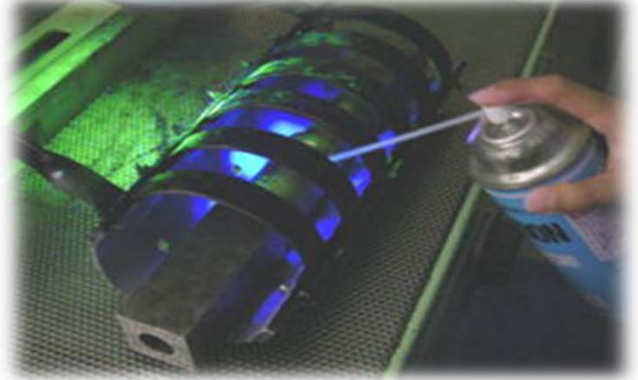


# 磁気探傷試験 (MT)

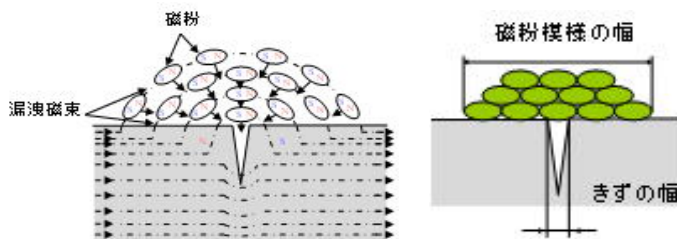


極間法による探傷方法



コイル法による探傷方法

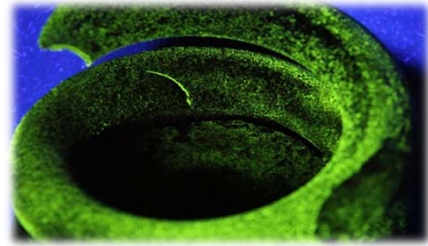
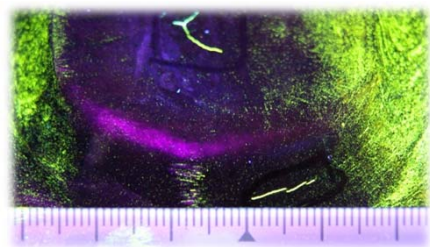
磁気探傷試験(MT: Magnetic particle Testing)は、鋼管や棒鋼をはじめ鍛造品、機械加工された機械部品など鉄鋼材料や溶接部の表面探傷試験方法として、広く利用されています。試験体に磁束を流した場合、試験体表層部のきず部で漏洩磁束が生じます。磁粉をその部分へ適用することにより、磁粉同士が吸着し、互いに繋がって識別できるようになります。



探傷原理



割れによる磁粉模様 (蛍光磁粉)



## 特長

- 強磁性材料に適用できる
- 表面及び表面近傍のきずの検出能が高い
- すべての方向の欠陥を検出するためには、2方向以上の磁化操作が必要
- きず深さはわからない。

## 適用

- 各種プラント・発電設備(配管、圧力容器等)
- 石油タンク
- 橋梁 など